

表1 「コナヒメ」の生育および収量成績（道総研：平成25～27年、現地試験：平成26～27年）

試験実施場所	品種名	枯ちよう期 (月.日)	茎長 (cm)	上いもの 数 (個/株)	上いもの 平均 重(g)	上いもの 重 (kg/10a)	対照 比 (%)	でん粉 価 (%)	でん粉 重 (kg/10a)	対照 比 (%)
全道平均	コナヒメ	9.23	72	12.8	88	5,006	108	19.6	934	101
	コナフブキ	9.24	77	10.1	103	4,622	100	21.1	929	100
十勝農試	コナヒメ	9.13	67	12.9	76	4,370	105	19.7	819	99
	コナフブキ	9.19	74	11.1	85	4,171	100	20.7	827	100

注1) 上いものは、20g以上の塊茎。

2) 全道平均は、道総研2機関延べ6箇所と現地試験4町村延べ8箇所の計14箇所。

表2 「コナヒメ」の病虫害抵抗性および塊茎の特性（試験研究機関：平成25～27年、現地試験：平成26～27年）

品種名	病虫害抵抗性					塊茎の生理障害		
	ジャガイモ シスト センチュウ	疫病	塊茎 腐敗	そうか 病	Yモザ イク病	褐色 心腐	中心 空洞	二次 成長
コナヒメ	強	強	やや強	弱	弱	少	微	少
コナフブキ	弱	弱	中	弱	強	微	微	少

注1) 病虫害抵抗性は特性検定試験（疫病：北農研センターおよび北見農試、Yモザイク病：中央農試、その他はすべて北見農試）の成績による。

2) 塊茎の生理障害は、表1における注2に示した全試験地の結果による。

3) ジャガイモシストセンチュウ抵抗性は“強”だが、ごくわずかなシストの着生が認められることがある。

表3 圃場試験における土壌中の線虫密度低減効果（北見農試、平成27年）

試験実施場所	品種名	卵密度 (卵数/土壌1g)		卵の 残存率 (%)
		植付時	収穫時	
A	コナヒメ	32.6	5.9	18
圃場	コナフブキ	25.8	299.3	1,343
	コナユタカ	34.5	2.3	11
B	コナヒメ	33.7	0.7	2
圃場	コナフブキ	47.5	259.9	605
	コナユタカ	30.0	2.3	11

注1) ジャガイモシストセンチュウ抵抗性の指標品種として、「コナフブキ(“弱”)」、「コナユタカ(“強”)」を供試した。

2) 数値はすべて3反復の平均である。



「コナフブキ」

「コナヒメ」

写真1 塊茎の比較

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研十勝農業試験場 地域技術グループ

電話 (0155) 62-2431 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp